

SDGs とビジネスの関連性（例）

| ゴール | 目標名 | 目標 | ビジネスとの関連性（※1） |
|-------|---------------------|---|---|
| 目標 1 | 貧困をなくそう | あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ | 持続可能な雇用、職業訓練、社会保障制度案内、災害保険、防災関連製品など |
| 目標 2 | 飢餓をゼロに | 飢餓をゼロに | 農林水産業、栄養豊富な食品の開発、食料ロス削減、効率的食料生産システム、給食サービス、農業資材、食品包装・容器技術、低温物流（コールドチェーン）など |
| 目標 3 | すべての人に健康と福祉を | あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する | 疾病・健康関連教育、フィットネス産業、運動推進、食生活改善、ストレス改善、保険・衛生・消毒、ワクチン開発、避妊用具、医療機器、健康診断など |
| 目標 4 | 質の高い教育をみんなに | すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する | 学校教育、教育環境の改善、施設整備、教員育成、誰にでも開けている学びの場、生涯教育、文房具、e-ラーニング、通信教育など |
| 目標 5 | ジェンダー平等を実現しよう | ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る | 保育、育児、介護、家電製品、女性向けファッション、美容用品など |
| 目標 6 | 安全な水とトイレを世界中に | すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する | 衛生設備、上下水プラント、水質管理、水道管、公衆トイレ、洪水対策、干ばつ対策、井戸の普及など |
| 目標 7 | エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する | エネルギー効率関連、太陽光など再生可能エネルギーによる発電、ガス事業、エネルギー開発、クリーン燃料、エコ活動など |
| 目標 8 | 働きがいも、経済成長も | すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する | 貿易、金融、農業インフラの整備、人材派遣、雇用マッチング、ロボット・AI活用、子育て支援、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）など |
| 目標 9 | 産業と技術革新の基盤をつくろう | レジリエント（柔軟）なインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る | 技術者支援、インフラ整備、移動・携帯通信サービス、産学官連携、スタートアップ支援、起業家育成、革新的事業承継、産業集積など |
| 目標 10 | 人や国の不平等をなくそう | 国内および国家間の不平等を是正する | 国際交流支援、貿易、フリートレード、技術移転、ハラルなど |
| 目標 11 | 住み続けられるまちづくりを | 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする | 建設、インフラ整備、交通、住み替えサービス、リバースモーゲージ※、リノベーション、防犯商品、見守り、災害対策商品など ※自宅を担保に生活資金を借入れし、自らの持ち家に継続して住み続け、借入人が死亡したときに担保となっていた不動産を処分し、借入金を返済する仕組み |
| 目標 12 | つくる責任、つかう責任 | 持続可能な消費と生産のパターンを確保する | LED化事業、リサイクル、プラごみ・食品ロス削減、エコカー、エコ家電、脱プラ商品、環境にやさしい商品の開発など |
| 目標 13 | 気候変動に具体的な対策を | 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る | 省エネ、人口肉、エコカー、エコ家電、バイオマス発電、林業、防災関連、自転車など |
| 目標 14 | 海の豊かさを守ろう | 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する | 海上保安、排水環境整備、養殖、海藻肥料、ピオトープ、プラごみ回収、植林、海洋教育など |
| 目標 15 | 陸の豊かさを守ろう | 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る | 農林水産業、貸農園、植林、グリーンツーリズムなど |
| 目標 16 | 平和と公正をすべての人に | 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する | 警察との連携、見守り商品、地域コミュニティの強化、ソーシャルネットワークサービス、セキュリティサービス、防犯商品など |
| 目標 17 | パートナーシップで目標を達成しよう | 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する | 情報通信サービス、マッチングサービス、バリューチェーン※ ※機能ごとに事業活動を分類し、どの機能で付加価値が生み出されているのか、競合と比較してどの部分に強み・弱みがあるのかを分析して、事業戦略の有効性や改善の方向を探ること。 |

（※1）上記例は、経済戦略室が示した一例であり、それが必ずビジネスに関連していると保証しているものではありません。あくまでも参考資料としてご覧ください。
上記内容について、閲覧者にトラブルが生じてても、市は一切責任を負いません。